

本会議から付託された議案7件を審査するため、9月14日に厚生常任委員会を開催しました。

・認定第2号 平成22年度総社市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について

「一人当たりの医療費は県内他市と比較してどのような水準にあるのか」、「一人当たりの医療費を下げるために、予防医学や健康づくりなどにもっと取り組むべきと考えるがどうか」、「保険料の収納率が低いと考える。これを上げるための対策にもっと取り組むべきと考えるがどうか」などについて質疑、答弁がありました。

そして、討論に入ったところ、「国庫支出金が年々減少していくなど、社会保障制度としての国の位置付けが甘く、この保険制度に問題がある」との反対討論がありましたが、起立採決の結果、起立多数により**認定**すべきであると決定。

・認定第3号 平成22年度総社市老人保健特別会計歳入歳出決算認定について

質疑、討論もなく、採決の結果、全員一致で**認定**すべきであると決定。

・認定第4号 平成22年度総社市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について

討論に入ったところ、「高齢者を差別するような医療制度は制度的に欠陥がある」との反対討論がありましたが、起立採決の結果、起立多数により**認定**すべきであると決定。

・認定第5号「平成22年度総社市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について」

「施設利用の待機者の状況はどうか。また、待機者解消のための将来的な展望はどうか」、「介護度を下げるような取組みの事例があるが、本市でもそのような取組みが行われているのか」などについて質疑、答弁があり、採決の結果、全員一致で**認定**すべきであると決定。

・議案第52号「平成23年度総社市一般会計補正予算（第2号）」のうち、本委員会の所管に属する部分

「総社市新生活交通調査分析委託料について、どういった内容の分析を行うものか。また、現状の課題を把握した上で、市が主体となって行うべきと考えるがどうか」、「私立保育所施設整備事業補助金について、公募で選考したということだが、応募件数はどうであったか。また、審査は誰が行い、どのように審査したのか」、「私立保育所施設整備事業補助金の補助基準や限度額はどうか」などについて質疑、答弁があり、本委員会の所管に属する部分は、採決の結果、全員一致で**原案を可決**すべきであると決定。

・議案第53号「平成23年度総社市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）」

特に質疑、討論もなく、採決の結果、全員一致で**原案を可決**すべきであると決定。

・議案第54号「平成23年度総社市介護保険特別会計補正予算（第2号）」

質疑、討論もなく、採決の結果、全員一致で**原案を可決**すべきであると決定。